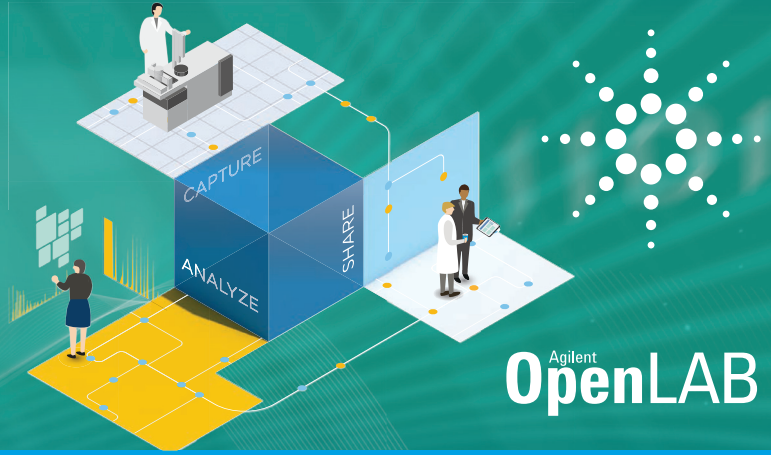


ネットワークで 安全なラボを構築



Agilent OpenLAB Enterprise Content Manager (ECM)

OpenLAB ECM を使用すれば、データを制御して高い成果を実現することができます。OpenLAB ECM により、あらゆる場所からデータを収集してデータインテグリティを維持し、ラボのワークフローに影響を与えずにデータを管理できます。その結果、現在のデータトレーサビリティ要件を満たしたうえで、分析結果を適切に提示できるようになります。

データインテグリティ: 信頼性の高いラボ

| 利点 | 機能 |
|--------------------------|---|
| 適切な作業者に 適切な情報を提供 | <ul style="list-style-type: none">システムおよびコンテンツ構造レベルでの完全なアクセス制御 |
| あらゆるデータ管理システム 導入戦略に適合 | <ul style="list-style-type: none">ローカルおよび分散リポジトリ構成をサポート構成可能なアクセス制御設定による (ローカルまたは AD を介した) 柔軟性の高いユーザー管理 |
| 完全なライフサイクルイベント追跡 | <ul style="list-style-type: none">中央のリポジトリを介してアーカイブデータにアクセス可能メタデータと格納データ間での完全なトレーサビリティを提供記録およびシステムレベルでのリビジョン管理とアクティビティログ履歴を提供 |

データ管理: ネットワーク化ラボ

| 利点 | 機能 |
|---|--|
| 社内および社外パートナーと簡単に連携 | <ul style="list-style-type: none">• 情報に関する柔軟性の高い論理的な編成• グローバルなアクセス• 自動化された通知• 関連ファイルへのハイパーリンク• ワークフローの確認と承認 |
| 時間を短縮 | <ul style="list-style-type: none">• フィルタライブラリによる堅牢なメタデータ管理• 単純で直観的なコンテンツ編成とナビゲーション |
| 一般的なクロマトグラフィーデータシステム ファイルの迅速な確認 | <ul style="list-style-type: none">• 中央管理• 専用ソフト不要で技術に依存しないファイルビューワ |
| 長期保管用にファイルが変換または 圧縮されている場合でも、 元のソフトウェアでデータ詳細への フルアクセスが可能 | <ul style="list-style-type: none">• 一般的なデータソースに対して、データファイルをオンデマンドでネイティブフォーマットに復元 |
| 堅牢な検索結果 | <ul style="list-style-type: none">• 拡張性の高いメタデータとコンテンツ検索 |
| あらゆるソースのあらゆるフォーマットの データを保管して管理 | <ul style="list-style-type: none">• さまざまなコンテンツアップロードメカニズム<ul style="list-style-type: none">– 直接 API 接続– スケジューラ– 出力サービス– 送信– デスクトップ統合• ECM ユーザーインターフェースを介した分析データの表示 (技術に依存しないビューワ) |
| 作業割り当ておよびデータの効率的で 信頼性の高い管理 (または処理) | <ul style="list-style-type: none">• オプションの Business Process Manager を使用した自動化条件付き作業割り当て |
| データの自動的な保護と集中化 | <ul style="list-style-type: none">• OpenLAB ECM スケジューラによる、バックグラウンドでのコンテンツアップロードの完全な自動化• ビルトイン構成により、コンテンツアーカイブの自動化が可能 |

詳細については、www.agilent.com/chem/jp をご覧ください

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2016
Printed in Japan, December 16, 2016
5991-7727JAJP